石川学院ニュース　No.113　令和４年3月

初めての調理実習♡

居住支援事業所風　ちゅりっぷホーム

2月20日、ちゅうりっぷホームで初めての調理実習を行いました。2月という事でバレンタインのチョコ！・・・ではなく一足早く「春」をイメージした、いちごパフェ♪（*▽*）普段就労へ通っている2人の利用者さんが、率先して調理を進めて行きました。京子さんは、慣れた手つきで張り切っていちごをカットし、Kさんは心を込めて材料を混ぜ合わせ、そして利用者さんそれぞれで、オリジナルの盛り付けをして完成～☆出来上がったパフェは、おやつの時間まで一旦冷蔵庫へ…。光枝さんは「早く食べたいさ」と待ちきれない様子でした。
自分で盛り付けた冷た～いパフェは、２倍・３倍美味しさup！初の調理実習は、皆さんのたくさんの笑顔が溢れた楽しい時間になりました。

（生活支援員兼世話人：上間　友紀）

節分＆誕生会

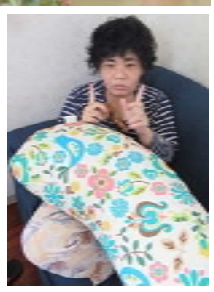
居住支援事業所花かご　のぼたんホーム

のぼたんホーム1F

利用者さんから「お刺身が食べたいっ！」とのリクエストがあり節分にちなんで恵方巻風にしてお刺身やまぐろのたたきを頂く事にしました。みんなでお皿に盛り付け、準備中からテンションが上がり「早く食べよう！」と待ちきれない様子^^；節分にちなんで豆まきや鬼のイラストの塗り絵を行い、雰囲気をより楽しみながら「美味しい～！お刺身最高！」とみなさん嬉しそうに召し上がっていました。

（世話人兼生活支援員：島袋　文佳）

のぼたんホーム2F



2月生まれの利用者さんの誕生会を行いました。みんなでバースデーソングを歌い「おめでとう！」と祝福されると、2人とも照れくさそうに微笑んでいました。保護者さんからも素敵なプレゼントを頂き、とても嬉しそうでした(^^♪　これからも、お二人がたくさんの笑顔に包まれ、楽しい毎日が過ごせますように！

（世話人兼生活支援員：仲底　華代）

節分と豆まき

障がい者支援施設石川学院

2月3日に節分の豆まきを行いました。節分とは「みんなが健康で幸せに過ごせますように！という思いをこめて、豆まきで悪いものを追い出す日」と由来を伝え、節分に関する紙芝居の読み聞かせを行うと皆さん見入っていました。その後、鬼が登場すると豆の代わりに準備したカラーボールで「鬼は外～、福は内～」と大きな声で退治しました。今回は、我如古勉さんが「鬼がやりたい！」と鬼役として参加しましたが、鬼の衣装を着用していても笑顔が素敵でとても優しそうな鬼でした。豆まきを終え、皆で健康等を祈願し豆の代わりに麦菓子を頂きました。皆さんの楽しんでいる様子が見られ、とても良かったです。

（生活支援員：嘉数　優）

節分＆豆まき

児童デイサービス石川学院

創作活動や隙間時間を活用し、節分グッズを作成しました。鬼退治の豆まきは新聞玉で代用し、鬼面作りには段ボールを使用しました。また、家庭から出た廃材等を持ち寄り（SDGs※）楽しい工作時間でした。例年通り中庭での豆まきを予定していましたが、当日は悪天候・・・残念ながら児童ルームで鬼退治に奮闘することになりましたが、強い力投に鬼も「たじたじ」皆で声上げ福を呼び込みました。**「鬼は外～～」「福はうち～～」**元気な声で鬼退治！！！　（児童指導員：仲松　久子）

※ 12つくる責任使う責任　15緑の豊かさも守ろう

バレンタイン仕様に飾り付け♪

地域活動支援センターみほそ

飾り付け

2月と言えば、バレンタインデー♪先月は、まん延防止等重点措置が発令中で、みほそでも感染防止対策のため行事活動を自粛することに…。そこでバレンタインデーに向けた壁飾り作り！利用者さんと職員でハート模様を丁寧に切って、両面をのり付けし、糸に張り付けて出来上がり。可愛らしく仕上がった壁飾りを一緒にセッティングしました。バレンタインデー当日は職員から利用者さんに、ささやかなチョコを渡すと嬉しそうな表情も見れました。来月の壁飾りは何にしようかな～？！

（相談員兼指導員：知念 咲菜子）

生活介護センター節分

生活支援センター石川学院

2月3日は「節分」。生活介護センターでも健康を祈願し、丸めた新聞紙を豆に見立てて豆まきを行いました。鬼が現れると「こわい…」とびっくりする利用者さんや、元気いっぱい鬼に新聞ボールを投げ付け退治する利用者さんも。「鬼は外、福は内」と元気な声で「豆」をまきました。その他、節分の動画を見たり、「鬼は外、福は内♪ぱらぱらぱらぱら♪豆の音♪」と皆さんで元気よく歌ったりと賑やかな時間を過ごしました。豆まきで汗をかいた後は、年の数だけ福豆を食べる・・ですが、今回は「きなこ（大豆）のお菓子」とジュースを美味しくいただきました。豆まきできっとコロナも逃げて行ったことでしょう。

（生活支援員：柴引　友香）

作業風景

就労支援事業所こみこみ

受け渡し

仕込み

丁寧に仕込みを行っています。

本日のメニュー
枝豆ごはん
赤魚の甘酢あんかけ
五目きんぴら
なめこのみそ汁

おやつの準備

洗い物

片付け

昨年4月より、こども園（市内）への給食提供がスタートしました！ 毎日、こども園の先生方と一緒に中身を確認しながら給食の受け渡しをしており、蓋を開けるたびに「美味しそーー！いい匂いーー！」と先生方からの嬉しいお言葉を頂き、とても励みになっています！当初は、あっという間に過ぎていく時間に試行錯誤の毎日でしたが、今では利用者さんも一連の流れにすっかり慣れてきた様子。異物混入が無いようにゆっくり丁寧に仕込みを行い、洗い残しが無いようにも十分気を付け作業をする等、安心して作業を任せることが出来るようになりました。この業務を通して、利用者さん一人一人のスキルアップを感じています。今後も、更に向上心を持って作業ができるように、支援していきたいという思いでいっぱいです。いつも笑いが絶えず元気をくれる利用者さんに感謝し、次年度に向け更にみんなで頑張っていきましょーーー！！！

（職業指導員：湯田　いくみ）

社会福祉法人　起産石川
〒904-1101
うるま市石川東山本町1-20-1
障がい者支援施設石川学院
児童デイサービス石川学院
Tel:098-964-2286　Fax:098-965-6004
生活介護センター石川学院
Tel:098-964-2239　Fax:098-965-6004

〒904-1101
うるま市石川東山本町2-12-15
就労支援事業所　こみこみ
（就労移行支援･就労継続支援B型）
Tel:098-963-0073　Fax:098-963-0074

居住支援事業所　花かご
ふきのとうホーム･のぼたんホーム1F/2F
居住支援事業所　風
かぐや姫ホーム･ちゅうりっぷホーム
居住支援事業所　きさん
ぽこ･あ･ぽこホーム

〒904-1101
うるま市石川東山本町2-12-15
相談支援センター石川学院
※強度行動障害支援者養成研修及び、精神障害者の地域移行関係職員に対する研修を修了した、相談支援専門員を配置しています。
Tel:098-964-2445 Fax:098-964-2446

〒904-1101
うるま市石川東山本町1-20-2
ロジャーズ館　3F
社会福祉法人　起産石川　事務局
Tel:098-964-2286 Fax:098-964-5055

〒904-1106
うるま市石川2-2-1　108号
地域活動支援センターみほそ
Tel:098-989-8146
Fax098-989-8147
Mail: mihoso@otc.ne.jp

発行日：令和 4年 3月15日発行
発行責任者：理　事 長　太　　直美
編集担当者：事務局長　大嶺　徳子

https://kisanishikawa.jp/

ひな祭り　　居住支援事業所花かご　ふきのとうホーム

お品書き
にぎり寿司
チキンのから揚げ
春雨の酢の物
中華スープ

ふきのとうホームでは、３月３日の桃の節句に「ひなまつり会」を行いました。♪あかりをつけましょ、ぼんぼりに～♪と、皆の歌声でスタート。にぎり寿司など豪華なお食事を満喫し、別腹には、伊波世話人の手作りケーキを《健康と幸せを祈願しながら》甘酒と一緒に美味しく頂きました。管理者からひなあられを頂き、ふきのとうガールズの笑顔は桃の花のように満開になりました。

（世話人兼生活支援員：大城　美由紀）

職員インタビューNo.69

障がい者支援施設石川学院　　生活支援員　金城　健介

Q1:入職の経緯と仕事の魅力を教えてください：
進路指導の先生から紹介して頂き「障がい福祉」に興味を持ち入職しました。

Q2:モットーは？：　「誰にでも優しく」です。

Q3: 利用者さんとの思い出は?：
運動会で活発に楽しんでる利用者さんと一緒に、力いっぱいお手玉や大玉転がしをしたことが一番の良い思い出です。

Q4:趣味・はまってることは？：
最近自宅で映画鑑賞を楽しんでいます。

Q5:今後の目標は？：
より丁寧な支援や支援方法を発掘していきたいです。

Q6:バトンはどなたへ？：
入所の翁長哲二さん。とても話しやすく明るい大先輩です。

-お知らせ-

令和４年度4月よりSDGｓの観点から学院ニュースの発行部数を減らします。毎月法人ホームページにアップしていますので、誠に勝手ながらそちらをご覧いただきますよう、お願いいたします。（12つくる責任つかう責任　13気候変動に具体的な対策を　15陸の豊かさを守ろう）

今年も院庭のイッペーが満開です

◎リモート面会は引き続き実施いたします。ご希望される方は日程調整等がございますので、事前に下記までご連絡下さい。
入所施設　サービス管理責任者　喜久川政博　098-964-2286